

# 令和5年度 第1回平塚市地域公共交通活性化協議会

## 1 日 時

令和5年8月25日（金）午後2：00～午後3：30

## 2 場 所

平塚市役所本館6階619会議室

## 3 出席者

### ○ 委 員

津田委員、吉田委員、佐藤委員（代理 長田氏）、井上委員、  
野本委員（代理 山口氏）、松田委員、田中（信）委員、  
鳥山委員（代理 長谷川氏）、松下委員、内藤委員、岩崎委員  
田中（勉）委員、梶田委員、最上委員（代理 臼井氏）

### ○ 事務局

武井まちづくり政策部長、若林交通政策課長、  
交通政策課 長谷川課長代理ほか担当3名、  
福祉総務課 西山課長代理

## 4 会議の成立

平塚市地域公共交通活性化協議会規約第6条第2項に基づき、委員の過半数の出席により成立

## 5 傍聴者

0名

## 6 議 題

- (1) 平塚市地域公共交通網形成計画に基づく施策の実施状況について
- (2) その他

## 7 議事録

次ページ以降に記載のとおり

○ 議事録

事務局	<p>本日はお忙しいところ、また暑い中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>令和5年度第1回平塚市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。</p> <p>進行役を務めさせていただきます平塚市交通政策課長の若林でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本協議会は、今年3月以来の開催となります。これまでの間に、人事異動等に伴う委員の交代がありましたので、ここで新委員の方々のご紹介をさせていただきます。</p> <p>委員の所属と名前をお呼びしますので、その場で起立をお願いします。</p> <p>(委員紹介)</p> <p>委員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>(資料確認及び留意事項の説明)</p> <p>本日の会議についてですが、平塚市情報公開条例第31条の規定に基づき公開し、また、配布資料と会議録につきましても、平塚市ホームページで公表いたしますので、御承知願います。また本日、傍聴希望される方はいらっしゃいませんでした。委員16名中、出席者14名で、委員の2分の1以上の出席を得ております。従いまして、規約第6条第2号の規定により、会議は成立しておりますことを報告します。</p> <p>ここからは、規約第6条第1項の規定に従って、会長に議長をお願いし、議事の進行をお願いいたします。それでは梶田会長よろしく申し上げます。</p>
会長	<p>改めましてこんにちは。今年度第1回ということでございまして、さらに16名中7名の方が新委員ということでございます。私会長しております東海大学の梶田でございます。いろいろな形で皆様方の専門的な知見からご意見いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。平塚市では、地域公共交通網形成計画を立てておりまして、今年度もその計画に沿って、どのようなことが進んでいるのかというところをご紹介しながら、より良い方向で進めたいと思いますので、忌憚のないご意見をいただければと思っております。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは早速でございますが、議題に入りたいと思います。まず議題の1で、「平塚市地域公共交通網形成計画に基づく施策の実施状況」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料1、1-1～1-6について事務局から説明)</p>
会長	<p>平塚市地域公共交通網形成計画に基づく実施状況ということで、資料に基づいて説明いただきました。何かご意見ご質問等がありましたらお願いした</p>

	<p>いと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>「資料1-3 手引きに係る地域説明会の開催結果」について、地域説明会を今年度は田村、大神、横内の3地区で実施したということでございますけども、意見が少ないと思います。</p>
	<p>今年3月の協議会でも質問したのですが、その際、事務局は地域の皆さんはあまり困っている認識を持っていないように思えるとお答えされたのですね。本当に困っている人がいないのか、あるいは困っている人の声が届いていないのか、あるいは個人の声をまとめるのにハードルが高くどうしたらいいのかわからないのではないかと。このうちどれだと、お思いになっているでしょうか。</p>
事務局	<p>当初、交通空白地域が多い地区での説明会では、バス停までの距離が遠くてなかなかたどり着けない等が地域としての課題だという意見が多かったですが、市街化区域を占める割合が多い地区での説明会では、交通空白地域というのも点在しているものの、バス停が使いにくいというようなご意見というのは、かなり少なくなってきている印象です。</p> <p>その代わりに、バスの利用方法についてのご意見が多くなってきておりますので、地域内交通というよりもバスの利便性向上を図っていくような方向性になってきております。おっしゃるように、市民にはまだ伝わってないかもしれませんが、まずは自治会長に認識いただいた中で、末端の市民へと声を広げていただき、そこでまた連携を図りながら協議していきたいと考えています。</p>
委員	<p>3地区（田村、大神、横内）は比較的交通の便が優れているため大きな問題がないというふうに思われたのではないかと思います。前回まで実施した地区が問題じゃないかと思ったところで、そちらでもあまり意見がないのはどういうことなのかと危惧したところです。</p> <p>また、手引きを見ると内容が難しく感じ、自治会の皆様が手引きをみてどのように動けばいいのか分かりづらいところがあります。「資料1-5 住民主体の地域内移送支援実施状況について」で挙げられたような具体的事例をもとに説明した方が、より身近なものとして考えられるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。地域説明会を実施していく中で、地域内移送に興味がある地区もございましたので、そういう方々には改めて地域内移送の仕組みについて説明していきたいと考えています。</p> <p>高齢者の移動についての課題は、交通空白地域以外からも声が上がっているため、地域福祉活動の中で出来る範囲でやれるような環境づくりや周知啓発への取り組みを進めていきたいと思っております。</p>
会長	<p>その他ございませんでしょうか。</p>

委員	<p>ジ アウトレット湘南平塚がオープンし、新たな系統が運行開始しました。資料1-2「南北都市軸を繋ぐ新たなバス路線（急行便）と電気バス導入について」で説明いただいた系統以外にも、旧道本厚木線の一部をツインシティ大神バス停に乗り入れるなどの補填をさせていただきました。</p> <p>4か月程経過し利用状況についてご説明させていただきますと、当初の利用予測に対しての割合が平日は45%、土休日は22%と大変厳しい利用状況になっております。田村地区については、急行便新設に関する啓発を市にご協力いただいているところがございます。今後利用状況を注視していき、利用状況に変化が無いようであれば、輸送力の調整も視野にしておりますので、ご理解の程お願いいたします。併せて連節バスの導入についても、現在の需要では導入可否について慎重な検討が必要です。</p> <p>土屋・吉沢地区の意見交換会につきまして、私も出席させていただき地域のご意見を伺ったり弊社の施策をご案内させていただいたりしているところですので。こちらについても、今後利用状況を見ながら精査していきたいと考えています。</p> <p>地域内移送については、輸送力を確保できない部分についてご協力いただいているという認識ですが、それによってタクシーやバス路線の弱体化を招くこともありますので、市として積極的に取り組んでいることに意見はありませんが、慎重にご検討いただければと思います。バス停上屋の整備・設置に向けては、広告事業者にご協力いただいてツインシティ大神バス停に3基設置させていただきました。今後広告事業者と調整を進めながら利用者の多い場所などに設置を検討していきたいと考えています。</p>
委員	<p>平日と土休日の路線バス利用率が予測よりもだいぶ低いということですが、アウトレットの来客数については予測に対して実際はどうか。また、アウトレット来客者の交通手段の比率についてはどのようになっているのでしょうか。</p>
委員	<p>アウトレットが開業して2週間後に意見交換させていただいた中では、来客数については予測を少し上回っているという回答をいただきました。交通手段の比率については詳しい数値等お出しいただけていないのですが、路線バス利用者については、予測を下回っているという感覚です。</p>
会長	<p>開業2週間後ということで、それ以降はまた客入りもだいぶ違うと思えますし、土日になりますと車での来客が多いのかなという印象がありますので、ぜひそのあたりを注視していただきたいと思えます。</p> <p>その他ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>「資料1-5 住民主体の地域内移送支援実施状況について」地域内移送の実施にあたっては、地域の声を受け、シニアクラブや地域団体とのマッチングを行って実現したのでしょうか。</p>

事務局	<p>はい、当初の事業開始の際は、市で地域内移送について支援がないかという声を受け、道路運送法等の関係を踏まえ、関係団体と検討しながら事業を組み立てていったものです。おっしゃるとおり、地域の方からの要望を受け、動き出した事業になります。その後は市から地域内移送についてのこのような活動はどうかという形で各地域に投げかけを行い、その後の3団体の活動が始まったという経緯です。</p>
委員	<p>国土交通省といたしましても、地域内移送を含め、次世代モビリティ等の取組について研究しておりますので、参考に聞かせていただきました。</p>
事務局	<p>これまで、4団体が位置する地域以外にも説明に伺っていて、その中でニーズの調査などもさせていただいているのですが、現状まだ必要ないという回答をいただいている地域もあれば、市内の中間支援団体がアンケートした結果ニーズが大きいという地域もあるということも伺っておりますので、今後も市から地域内移送について説明・提案をしながら進めていきたいと思えます。</p>
会長	<p>鉄道について、委員から何かありますでしょうか。</p>
委員	<p>鉄道の輸送力増強については毎年要望をいただいているところですが、簡単に出来ない難しい課題でございます。「資料1-1 鉄道の利便性向上の促進に向けた取組について」2 要望事項の東海道本線の一番にあります「快速アクティーの1時間当たりの増発及び運転時間の拡大」については、快速を走らせる方がいいのか、それとも平塚以西の大磯、二宮を各駅停車にして乗れる機会を増やした方がいいのか、どうあるのが地域の実情に合っているかを総合的に判断しなくてはいけないというのをご理解いただきたいと思います。</p> <p>また「根岸線の平塚駅までの乗入れ」「相模線の平塚駅及び藤沢方面への乗入れ」というのは課題が多く長期的な問題であると思えます。「東海道貨物線の本格的な旅客線化の実現」については、沿線の開発状況などまちづくりが進んでいるかも含めてやはり長期的な検討課題かなと思っております。</p> <p>「特急『踊り子』の平塚駅への停車」については、昔藤沢、茅ヶ崎、平塚に停車したことがあったのですが、利用が低調だったということで、やはり特急「踊り子」は伊豆方面への速達性を向上させることが使命であるということで平成元年にやめたという経緯がございます。そうしたことで今に至っているということをご理解いただければと思います。</p> <p>それと相模線の「複線化の早期実現」「他線との相互乗入れ」についても長期的な課題かなと思っております。あと平塚駅の駅施設等の整備について、随時バリアフリー整備を進めております。ホームドア整備につきましては、東海道線はJR全体の中でも遅い方になっております。というのも、特急や電車などいろいろなタイプの電車が停車する関係で、どのようなタイプのホームドアを設置すべきかスペース等考慮し検討している段階でございます。</p>

	<p>す。2031年春までに平塚駅にホームドアを設置するという事でプレスリリースをしておりますので、そこに向かって順次整備を進めていきたいと思えます。もう少しお時間をいただければと思えます。</p>
委員	<p>根岸線や相模線の要望は物理的に難しいと思うのですよ。どちらかという事事務局というか県全体の話になってくるので難しいと思えますが。どう頑張っても出来ないことがあって、それをそのまま要望として挙げるというのは、考えたほうがいいのかと思えますが。</p>
事務局	<p>鉄道事業者への要望につきましては、庁内及び庁外関係部署と調整を図りながら行っております。望む声があるということはやはり要望として挙げていくべきだという判断のもと、要望書を提出させていただいておりますので、ご承知おきいただければと思えます。</p>
委員	<p>難しいという回答があっても挙げられているということですね。</p>
会長	<p>東海道新幹線倉見新駅ですとか、リニア中央新幹線ができれば、状況も変わっていくこともありますので、ご検討いただきながら進めていければと思っております。</p>
委員	<p>私田村に住んでいまして、この間地域説明会をしていただいたのですが、自治会っていうのは長年やっている人がほとんどいなくて、任期が2年で長くて4年ということで、説明会で出た話題については始めて聞く人が殆どでした。説明会では地域の公共交通に対して課題を募集していますとか、地域の意見をまとめて市にお渡しするというものではなく、神奈中の宣伝に来たのかなという印象がありました。</p>
事務局	<p>私どももどういう説明をすれば、地域の方々、自治会の方々に分かってもらえるか考えながら説明会を進めているのですが、私どもが考えているようには伝わらないというのも今お話しを伺って反省すべきことなのかなと思えます。いただいたご意見を参考に今後の説明会に反映していきたいと思えます。</p>
会長	<p>老人クラブ連合会からは、ご意見等ありますでしょうか。</p>
委員	<p>特にありません。ただ、われわれのような年代ですと、バスや鉄道の運行状況についてはあまり関心が持てないのが正直なところですよ。</p>
会長	<p>その他ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>昨年度第1回協議会でも提案させていただいたのですが、資料1の取組予定や取組状況について、最終目標が何で、いつ実現するのかを記載されてい</p>

	<p>なので、曖昧な計画になってしまっている。それぞれの取組について目標はあると思いますので、それを示していただきたいです。例えば資料1裏面のノンステップバスやユニバーサルデザインタクシー導入数のように、書けるところは書けると思うのです。そうすれば、その目標に向かって協議など進めていけるとおもうので、なるべく書いていただけるとありがたいと思っています。</p>
事務局	<p>なかなかアウトプットを示すのが難しい部分もございますので、書けるところは、うまく調整を図りながら、記載していきたいと思っています。</p>
会長	<p>網形成計画に目標値を入れていませんでしたか。それとの関係もあると思います。</p>
事務局	<p>そうですね。目標値があるものと無いものがありますので、そこは調整しながら、考えていきたいと思っています。</p>
会長	<p>網形成計画に記載があってこちらに記載がないとなるといけないので、お願いしたいと思います。</p> <p>サイクルアンドバスライドにつきまして今13箇所設置されているということですが、感覚的にでもいいのですが、どのような場所で利用者が多い印象でしょうか。</p>
委員	<p>定期的にサイクルアンドバスライドの設置箇所について見回っているわけではないので私の通勤経路内でのお話しになりますが、中沢橋、片岡、南金目はちょっと少ないかなという印象です。南原土手ですとか、今回設置された柳の内は比較的台数が停まっている印象があります。</p>
会長	<p>周知も含めて、利用可能性はあると思いますので、ぜひよろしくお願いたします。あと電気バスについては何台くらい走っていますか。</p>
委員	<p>全市的には2台です。</p>
会長	<p>運転手の方から運転しやすいとか、そういう話はあるのですか。</p>
委員	<p>静かだという意見はいただいています。</p>
会長	<p>メンテナンスの面では、なにか課題は出たりしていますか。</p>
委員	<p>導入したばかりなのでまだ主だったデメリット等などは見えてきていませんが、導入するにあたり充電設備やキュービクルの設置に苦慮したところがありました。</p>

会長	<p>今後は電気バスを増やしていく方向ですか。</p>
委員	<p>電気バスなのか、それとも水素バスなのか、国の指針が明確化されていないので何ともいえないところではありますが、水素ステーションを作るよりも電気バスの方が運用しやすいのではないかと感じています。</p>
会長	<p>地域内移送で、訪問Dについての検討はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>介護保険所管課と研究をしているところですが、訪問Dについては制約が多く全国的に訪問Dでの地域内移送の事例はあまりないという事です。そうした中で、訪問Bというボランティアの精神による地域住民の生活支援派生型ということで、町内福祉村では訪問Bを活用して生活支援を行っていますので、訪問Bを活用する方向で進められないか各福祉村に投げかけをしている状況です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。その他、委員の皆様から周知したい事項はございますか。</p>
委員	<p>路線バスについて、本年7月1日から運賃改定をさせていただきました。子育て世代や高齢者の方には影響が出ないような運賃改定を実施させていただいているところです。かなちゃん手形は金額据え置きでやっておりますし、小学生以下のお子様については、毎日小児IC運賃50円で乗車できる施策を実施し、通学定期券については割引率を引き上げ、改定前運賃と同じような金額で買えるというような対策をさせていただきました。運賃改定については、乗務員不足が顕著な課題となっている中で、乗務員の待遇改善にあてがうような状況です。併せて、2024年問題と呼んでいる乗務員の改善基準告示の見直しにより、労働時間が厳格化されることとなり、弊社を取り巻く環境が一層厳しくなっております。</p> <p>路線バスというのは、皆様に乗車いただいて育っていくような仕組みになっております。利用者がいなければ路線が細くなっていくのは無くなってしまいますし、逆に利用者が増えれば路線が太くなっていきます。皆様の積極的なご利用ですとか、お声かけの方お願いできればと思います。</p>
会長	<p>最近のバス乗車状況については、どのようになっていますか。</p>
委員	<p>コロナ前の2019年と比べまして、コロナ禍よりも約8割程度戻ってきております。エリアで見ると9割戻ってきているところもありますが、全域で見ると8割くらいになっております。そこで上限であまり動きが無いので、企業の在宅勤務導入の動きなど生活の変容によって、コロナ前よりも落ちてきてしまっているのかなという印象です。</p>
会長	<p>タクシーの状況はいかがでしょうか。</p>



委員	<p>乗車人数はコロナ前と比べてかなり戻っていますが、乗務員不足ということでその確保が課題というところです。タクシーについても詳細は決まっておりませんが運賃改定が11月頃に行われる予定です。改定分については乗務員への還元や燃料高騰に充てられるようにやっていきたいという感じです。</p>
会長	<p>ありがとうございます。それでは全体を通して何かご意見ご質問はございませんでしょうか。</p>
事務局	<p>平塚市では、神奈川中央交通さんと連携しまして、路線バスの自動運転実証実験を進めていきたいと考えております。こちらにつきましては、国の補助金が活用できることから、先月7月に補助金を申請しているような状況です。現在はまだ採択の審査中ですので、具体的なところまではお話できませんが、採択された場合は、平塚駅南口におきまして、この実証実験に適したルートを選定して進めていきたいと考えております。</p> <p>この実証実験は、まずは運転席にドライバーさんがいて、人間による運転が必要というような判断をした場合には、手動操作を行います。自動運転のレベルで言いますと、レベル2というところから段階的に実証実験を行っていきまして、将来的には完全自動運転となりますレベル4を目指していきたいと考えております。現在のところ国補助金の採択の結果が出ておりませんが、採決された場合には、委員の皆様方にはご協力をいただく機会というのがあると思いますので、その際はよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
会長	<p>ぜひ採択されてですね、新しいまちづくりに利用できればと思ひますので、よろしくお願ひいたします。その他ご意見ご質問ありますでしょうか。</p> <p>(質問無し)</p> <p>これで議事を終了したいと思ひます。それでは、進行を事務局にお返ししたいと思ひます。</p>
事務局	<p>以上をもちまして、令和5年度第1回平塚市地域公共交通活性化協議会を閉会します。次回は各取組の進捗状況と、翌年度の取組内容を、年度末の来年3月頃に開催したいと考えておりますので、その際は書面等でご連絡させていただきます。本日はどうもありがとうございました。</p>